

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月12日

上場会社名 アプライド株式会社

上場取引所 JQ

コード番号 3020 URL <http://www.applied-g.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 岡 義治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長

(氏名) 坂井 雅実

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 092-481-7801

平成21年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	13,954	11.0	168		29		87	
21年3月期第2四半期	15,680		87		238		117	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	64.61	
21年3月期第2四半期	87.00	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
22年3月期第2四半期	12,451		3,596		28.5	2,622.80
21年3月期	12,575		3,735		29.3	2,730.28

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 3,544百万円 21年3月期 3,689百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期		30.00		50.00	80.00
22年3月期		30.00			
22年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,004	11.9	21	93.6	231	56.0	50	81.6	36.99

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 1社 (社名 株式会社プレビ) 除外 社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 無
以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	1,351,600株	21年3月期	1,351,600株
期末自己株式数	22年3月期第2四半期	261株	21年3月期	261株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	1,351,339株	21年3月期第2四半期	1,351,339株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日～平成21年9月30日)におけるわが国経済は、世界的な金融危機による景気の悪化については、下げ止まりの傾向が見られるものの、企業収益の減少に伴う雇用環境の悪化や個人消費の冷え込みは回復の兆しが見えない状況が続いています。

このような環境の中、当社グループは、組織力による差別化を掲げ、グループ各社の相乗効果による顧客の増大を推進しました。

店舗展開につきましては、パソコン、液晶テレビ、携帯電話、ブロードバンドを核とした品揃え、サービスの強化を行うことにより、他店との差別化を推進し、平成21年7月に「アプライド」としては初となる東海地区に「アプライド静岡店」をオープンいたしました。また、9月にはテレビゲーム専門店「シータショップ佐賀店」をオープンいたしました。個人消費の落ち込みや全般的な単価下落に加え、新OSであるWindows 7の発売前の買い控えによる影響を受けました。

法人顧客向けには、全国20拠点の営業所から地域に密着した営業活動を行うと同時に、当社の商品開発力および商品調達力を活かした大口案件の受注を強化いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は139億54百万円となりました。利益面におきましては、出店費用の影響、外国為替の変動による為替差損により、経常損失は29百万円、四半期純損失87百万円となりました。

事業の種類別の売上高は次の通りです。

パソコン関連事業は、パソコン本体の単価下落や新OSであるWindows 7の発売前の買い控えにより、パソコン本体、周辺機器に影響がでましたが、専門店としての特徴を活かし、パーツ・中古・技術サービスの強化を行うことにより、売上高は138億4百万円となりました。

業務受託関連事業は、大学、法人向けのWeb開発に注力しました。低価格によるホームページの作成を商品化し、全国への営業を強化したことにより、売上高は、1億25百万円となりました。

出版・ブライダル事業は、企画力を活かした総合的なプロデュースによる受注を目指し、紙面、商品、Web開発など当社グループ各社の強みを活かした展開を行い、売上高は2億31百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1億23百万円減少し、124億51百万円となりました。これは主に、有形固定資産の増加4億22百万円、現金及び預金の減少1億2百万円、受取手形及び売掛金の減少4億44百万円によるものです。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ14百万円増加し、88億54百万円となりました。これは主に、長期借入金の増加4億49百万円、支払手形及び買掛金の減少5億11百万円によるものです。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ1億38百万円減少し、35億96百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少1億54百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は、28.5%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年11月10日に開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の通りであります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

株式会社プレビは期中の設立により、当連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の見積額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,546,514	1,648,543
受取手形及び売掛金	1,065,458	1,509,663
商品及び製品	2,900,685	2,938,720
仕掛品	512	1,011
原材料及び貯蔵品	37,308	35,248
その他	392,377	367,811
貸倒引当金	10,897	21,790
流動資産合計	5,931,959	6,479,207
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,002,665	3,696,236
減価償却累計額	1,920,860	1,854,045
建物及び構築物(純額)	2,081,804	1,842,190
土地	2,316,123	2,129,176
その他	869,498	839,487
減価償却累計額	565,065	531,420
その他(純額)	304,433	308,067
有形固定資産合計	4,702,361	4,279,434
無形固定資産		
投資その他の資産	32,884	35,884
敷金及び保証金	1,442,688	1,369,785
その他	347,044	417,379
貸倒引当金	5,438	6,194
投資その他の資産合計	1,784,294	1,780,970
固定資産合計	6,519,540	6,096,289
資産合計	12,451,500	12,575,497

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,767,339	2,279,329
短期借入金	1,400,000	1,400,000
1年内返済予定の長期借入金	528,661	499,183
未払法人税等	24,026	128,903
賞与引当金	208,947	230,132
製品保証引当金	1,250	1,074
ポイント引当金	56,335	69,755
その他	948,946	862,874
流動負債合計	4,935,507	5,471,252
固定負債		
長期借入金	2,809,978	2,360,435
長期未払金	403,000	404,200
退職給付引当金	262,867	282,478
負ののれん	177,660	207,186
その他	265,633	114,781
固定負債合計	3,919,139	3,369,080
負債合計	8,854,646	8,840,333
純資産の部		
株主資本		
資本金	381,734	381,734
資本剰余金	403,678	403,678
利益剰余金	2,771,157	2,926,037
自己株式	500	500
株主資本合計	3,556,069	3,710,949
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,777	21,412
評価・換算差額等合計	11,777	21,412
少数株主持分	52,561	45,627
純資産合計	3,596,854	3,735,164
負債純資産合計	12,451,500	12,575,497

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	15,680,351	13,954,974
売上原価	11,933,523	10,708,005
売上総利益	3,746,828	3,246,969
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	398,085	382,132
ポイント引当金繰入額	79,291	56,335
給料及び手当	991,120	988,868
賞与引当金繰入額	213,992	189,647
賃借料	511,030	498,166
その他	1,466,163	1,299,977
販売費及び一般管理費合計	3,659,683	3,415,127
営業利益又は営業損失()	87,144	168,158
営業外収益		
受取利息	8,299	6,747
受取補償金	29,000	126,000
為替差益	52,124	-
負ののれん償却額	29,472	29,526
その他	86,815	63,670
営業外収益合計	205,711	225,943
営業外費用		
支払利息	43,394	39,452
為替差損	-	40,312
その他	10,696	7,490
営業外費用合計	54,091	87,256
経常利益又は経常損失()	238,765	29,471
特別損失		
固定資産除却損	16,944	4,551
たな卸資産評価損	8,806	-
特別損失合計	25,751	4,551
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	213,013	34,022
法人税、住民税及び事業税	91,274	17,311
法人税等調整額	2,117	29,045
法人税等合計	93,392	46,356
少数株主利益	2,047	6,934
四半期純利益又は四半期純損失()	117,574	87,313

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。